

「リカバリー」

障害を持ちながら人生を回復すること

川崎医療福祉大学 作業療法士 長安正純

最近「リカバリー」という言葉をよく耳にします。今回はリカバリーについて考えてみたいと思います。

リカバリー(回復)という概念は「障害を持ちながらも人生を回復する」という精神障害リハビリテーションの鍵となる概念です。

当事者であり援助者であるDeanはリカバリーを「病気からの回復ではなく、人々の偏見、医源性の障害、自己決定の欠如、働いていないことへの否定的問題、壊された夢、からの回復」と述べました。林病院に勤務経験のある野中猛先生は「病や障害によって失ったものを回復することがリカバリーであり、失ったものは①機能、②自尊心、③生活、④人生などで、たとえ機能障害を回復することはできなくとも、自尊心、生活、人生を回復することはできる」と述べておられます。

「医源性の障害」もあるように、リハビリテーションがリカバリー

を損なうこともあり得ます。けれども私たちはリハビリテーションの目的はリカバリーだと考えています。

日程 1月14日(金)

花物語



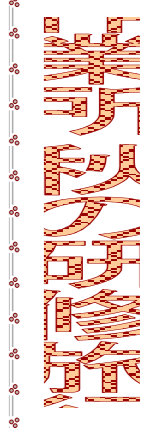
待宵草

宵を待つて咲花だから
まつよいぐさ。
辺りに宵闇が迫ると闇に
ほの白く浮かび上がる
ようにひっそりと咲く。
高い香りを放ち、そして
明け方になるとしぼんでし
まう一夜花。
夢二が愛した女性を想わ
せる。

花ことば

浴後の美人

新宮 弘子



1月15日(土)
高知県
行き先
参加費用 一万五千円

通所授産施設「さんかく広場」(高)

知市和泉町)を見学。室戸海洋深層水仕込みの天然酵母使用、天然酵母のパン・クラッカー・コーヒール・ハウス「きららの実」(喫茶店)ではセットメニューでパンと飲み物が味わえます。
桂浜の波の音を聞きながら、土佐の味を堪能! 旅館「浦戸」で一泊します。
龍馬に逢いに行きましょう!



◎寄付金よろしくお願ひします

振込口座 トマト銀行原尾島支店
社会福祉法人「結い」
理事 前田 勝子

支店番号 049
口座番号 普通預金5975451

「結い」だより (仮称)

「にのつぼ」を 小規模通所授産施設に!

第2号 発行
社会福祉法人「結い」
〒703-8255
岡山市東川原1-1
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者 前田 勝子

を削減されたままです。小規模通所授産施設として認可されれば、年間一千万円が保障され、より安定した運営が可能となります。一刻も早く、「にのつぼ」を無認可作業所から社会福祉法人の小規模通所授産施設へと移行したいと思えます。



林友の会運営の無認可作業所、「にのつぼ」は、1990年に開設。喫茶店・うどん屋の間借りを経て、2000年9月、浜に宅配弁当の「喜楽」として独立し、3年が経ちました。
一人暮らしのお年寄りの方、地域の方からご注文頂き、一食からお届けしています。時間と勝負の中、一日平均約十名のメンバーで喜楽を支えてきました。
今年度、国・県・市は財政難を理由に、年間たった610万円しか出していない補助金を約20万円も削減してきました。常勤職員2名を雇い、家賃・水道光熱費・消耗品費等運営を維持していくには、決して楽な数字ではありません。
来年度も、無認可作業所は補助金

皆、力を合わせて、頑張りましたよ。



政府、精神障害者の社会復帰施設 助成ヶ所を大幅に削減!

小泉内閣は、今年度予算で精神障害者の社会復帰施設の補助金を大幅に削減してきました。厚生労働省は全国一六ヶ所の申請中、その八割をゼロという冷酷な査定をしてきました。「きょうされん」として急ぎよ政府に要請行動を実施し復活を要請しました。その甲斐がありました。合計七十五ヶ所に助成となりました。しかし、これだけで

政府 来年度予算で 申請ヶ所すべて補助と約束

来年に備え、小池参院議員にも援助を要請しました。厚生労働省は、小池議員に対し、来年度は申請ヶ所にはすべて補助する」と回答してきました。

ご奮闘いただいた小池参院議員(共)は「厚生労働省は、入院患者七万二千人を復帰させる新障害者プランを今年からスタートさせたばかりです。今後、政府や厚生労働省に対し抗議と要請を強力に進めましょう」と語っています。

無認可作業所への補助金 国・県・市が二十万円カット!

本年度予算で無認可作業所に対する補助金を無慈悲にも約20万円も削減してきました。林友の会は、障関連、共作連とともに、県と市に強力に抗議要請してきました。

第七・八回理事会 第三回評議員会 開く

「にのつぼ」小規模通 所授産施設化へ

職員の退職共済決定

四月「結い」発足以来五月三十一日第七回理事会、第三回評議員会を開催。七月十一日には、第八回理事会を開催しました。第七回理事会では、竣工式と祝賀会の報告を行い、協議事項として、平成十五年度予算、給水装置の水道管の変更と工事費の支払い、それに「にのつぼ（喜楽）」の授産施設への移行について協議し確認しました。つづいて開かれた評議員会では、理事会で用意した報告と提案を行い、それぞれ協議し確認しました。

第八回理事会は、岡山県の監査報告（六月五日）宇野学区の清掃（六月八日）ニュースの発行（七月二十五日）それに「ワークハウス・わくわく！」の連結収支報告を行いました。協議事項では、職員の夏季賞与について、年間三ヶ

月が限度で、夏季は、せいぜい一・五ヶ月が精一杯という提案を行いました。せめて従来の実績（五ヶ月）を尊重するよう意見があり、その方向で努力するよう申し合わせました。水道管の取替えは、当然のこととして、借入れをし、早期に工事することになりました。

また、職員の退職金共済については、岡山県社協と社会福祉医療事業団の双方の規定を検討し、当面事業団の退職共済制度（退職一時金）に加入することになりました。

なお、運営規則の一部改正を提案、顧問の意見書が不要となったことから、その項目を削除することにしました。保健所への当事者の入退の届出については改めてその必要性を保健所に正すことにしました。町内会との友好を促進するために、第一回の連絡協議会を行うことにしました。

町内と第一回協議会 和気あいあいと懇談開く

社会福祉法人「結い」と東川原

町内会（光前支部）との第一回連絡協議会が、七月十五日開催されました。町内からは、長江連合会長、久戸瀬邦彦（光前支部理事）、川上えみ子、藤原敏子、平尾恭子の各氏、それに北村幸子（宇野学区民生委員・結い評議員）、田辺美千子（同民生委員・結い評議員）、の両氏が参加されました。

理事会からは、前田理事長、高橋施設長、中島理事、それに通所者三名が参加しました。まず、高橋施設長から、四月一日に立ちあげた「ワークハウス・わくわく！」の竣工式と祝賀会、県の監査、町内の河川の清掃について報告しました。

つづいて「ワークハウス・わくわく！」の洗濯業務について報告。洗濯作業は、週四日、二時間程度実施、一日の通所者は約十人、大型洗濯機の導入で三時間かかっていた作業が一時間で済む。いまでは、病院の患者の洗濯まで行っているなど、うれしい報告を行いました。

参加者から好意的なご意見や要望がありました。ご要望やご意見を受け、高橋施設長から、来年からは、地域の皆さんの洗濯もお手伝いしたい、夏祭りには、模擬店を出させてほしい、また、今年の秋頃には、無料の医療相談を考え

ており、協力してほしいことなどを申し述べました。次回の連絡協議会については、半年に一回程度、開催することを申し合わせました。

河川の清掃に参加

六月八日、町内の河川の清掃に参加しました。「ワークハウス・わくわく」から、高橋・太田それに通所者三名が参加、操山高校周辺の用水の清掃を行いました。一年間で河川は藻が茂り、空き缶も散乱していましたが、きれいに清掃ができました。

政府、補助金を 一ヶ所九九万に削減

政府は、平成十五年の小規模作業所への国庫補助の箇所数を八八〇カヶ所から七九二ヶ所に削減してきました。全国の仲間たちは激しく抗議しましたが、復活に至らず、止むなく、従来の箇所数は維持し、助成額を一ヶ所当たり年九十九万円（十一万減）に引き下げることになりました。今共同作業所は全国で一六三七ヶ所、交付申し込みは、一二〇〇ヶ所、しかし助成対象は、僅か八八〇ヶ所です。来年度には全申請数の交付にむけ、強力に運動をすすめましょう

訪問記 色えんぴつ

介護保険 デイサービス

50代の障害者も めいめいのペースで 愉しくわくわく♪

本格的な夏になった七月三日、福泊にある介護保険サービス事業所「色えんぴつ」を岡山中央福祉会の友の会の声掛けで、通所者のYさんと一緒に訪ねました。作業所の中では年をとられている通所者の方から「自分の老後はどうなるんだらうか」「（精神）病院に入れてもらえるんだらうか」といった老後に不安を感じている方々が増えてきました。

年をとっても地域で暮らしていくためにはどうしたらいいのか、どんな施設があるのか、前から一度見学に行きたいという声が出ていました。「色えんぴつ」は、五年前に責任者の田中さんといわれる方が、特養で働



いていた友人三人と一緒に始めたこと。介護保険が始まる前で、借りる家も決まらず、どうしようかと悩んでいたら、今の大家さんが、知人の知り合いで「そういうことならぜひ使ってください」と言ってくれ始められたそうです。

小さな民家で、すぐ隣の家の畑の野菜が青々としていました。家の中では、昼寝をされている方・パズルをしている方・お茶を飲まれている方と利用者の方々がめいめいのペースで、ゆっくりと一日を過ごしている感じでした。

ここには、介護保険の対象外となる交通事故による障害をもたれた五〇代の方もいられたり、胃漏の方もおられました。田中さんの「自己満足かもしれないけれど、色えんぴつ」を始めたら、とても沢山のことを教わった。毎日が楽しくて、家に帰るよりここにいたいと思ってしまう」という言葉が印象的でした。

小さな普通の

家に集まって、過ごす一日。体が不自由になっても、こういう風外にでてこれ、ゆっくりとみんなと過ごせるといいな、と思いましたが。（高橋記）

第三五回全家連大会 十月二四日に 埼玉で開催

埼玉で開催

今回は埼玉で一日のみの大会の予定です。

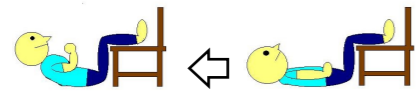
この大会は、「彩の国からの出発、全家連の再生を目指して」をテーマに、今日の家族会活動の進むべき方向を討議します。

記念講演は、村上和雄先生（高血圧の遺伝子研究家）が「彩って私たちが人生をプラスにかえるために」と題して記念講演されます。また四つの分科会（治療についての家族の悩み不安、当事者からのメッセージ、市町村時代を迎えて、全家連の再生をめざして）が開かれます。精神障害者の社会参加と自立、サービスマシンの整備等の推進を図る第一歩を大きく踏み出す大会として、力を合わせて成功させましょう。

すっきりおなか トレーニング

秋、スポーツの秋・食欲の秋！お腹まわりが気になる人も、そうでない人も、筋肉トレーニングですっきりおなかめざしませんか？簡単で誰でもどこでもできる運動を紹介します。

20回1セットを目標に、きつければ5回からでも毎日続けましょう。



- 背中を少し床から離す（上体を起こす）
- 両足をイスに（壁にあてても）
- 両手は太ももの後ろに

お腹に意識を集中させ、い〜ちに〜とゆっくりと。

ポイント

上体を起こすときに息を吐き、元に戻すときに息を吸いましょう。

